

&lt;第77回調査&gt;

2015年10月26日

**【本調査の目的】**

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

**【調査実施期間】**

2015年10月13日(火)13:00~2015年10月20日(火)13:00  
※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

**【調査対象】**

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

**【調査方法】**

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。  
今回の有効回答数は760件。  
※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

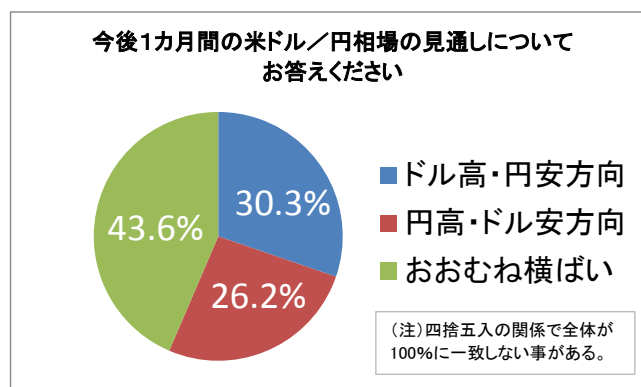
Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 【第77回調査結果略報：米ドル/円膠着予想】

### 問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

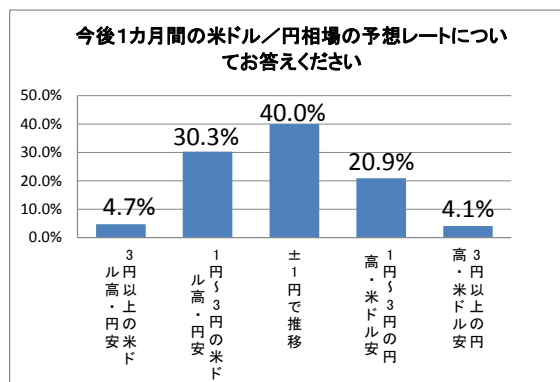
「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が30.3%であったのに対し「円高・ドル安方向」と答えた割合は26.2%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は+4.1%ポイントとなり、前月(+2.6%ポイント)に続いて一桁台のプラスDIとなった。調査期間中の米ドル/円相場は120円を割り込んで一時118.00円台まで下落したが、すぐに119円台後半に値を戻すなど「上値は重いが下値も堅い」という展開であった。こうしたレンジ色の強い相場展開の中で、半数近いFX投資家が今後も「おおむね横ばい」の展開が続くと予想したようだ。

※過去の米ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。



### 問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「±1円で推移」が40.0%と最も多く、「1円～3円の米ドル高・円安」が30.3%、「1円～3円の円高・米ドル安」と答えた割合が20.9%と続いた。「3円以上の米ドル高・円安」は4.7%、「3円以上の円高・米ドル安」は4.1%であった。ヒストグラムの形状は中央(±1円で推移)を頂点とするピラミッド型であり、「おおむね横ばい」予想が4割以上を占めた問1の結果と整合的である。本問に対する回答の9割以上が「-3円～+3円」に収まっており、調査期間中の米ドル/円相場が119.00円を挟んで推移していた事から、FX投資家の想定レンジは116-122円前後であり、コア予想レンジは118-120円と推測できる。



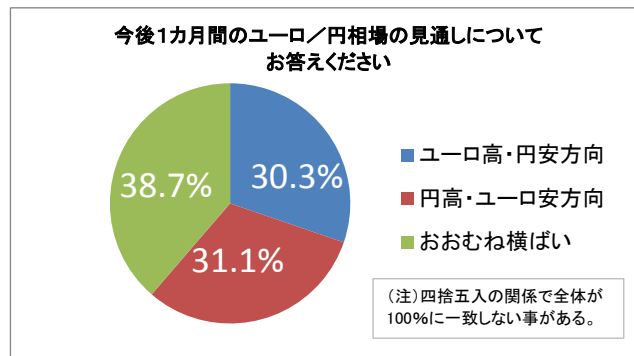
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

### 問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が30.3%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合が31.1%であった。この結果、**ユーロ/円予想DIは-0.8%ポイント**とほぼ中立であり、前回調査(-10.9%ポイント)からはマイナス幅が縮小した。なお、米ドル/円に続きユーロ/円でも「おおむね横ばい」予想が最多の回答割合を占めている。調査期間中のユーロ/円相場は、欧州中銀(ECB)による追加緩和観測の高まりなどから一時134円台に差し込む場面も見られたが、意外にこうした観測がFX投資家のユーロ安・円高予想を強くかき立てる事はなかったようだ。

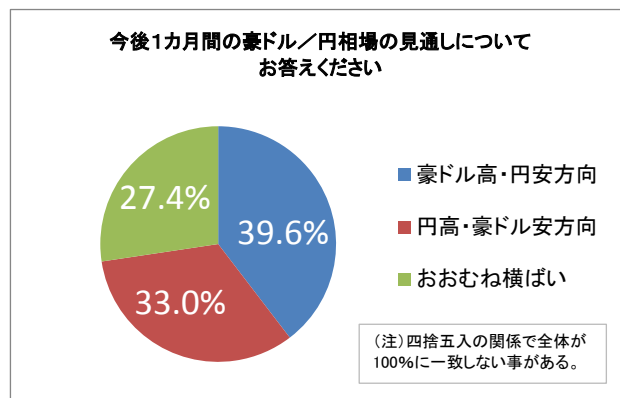
※過去のユーロ円予想DIの推移はP7-8に掲載。



### 問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が39.6%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は33.0%であった。この結果「**豪ドル/円予想DIは+6.6%ポイント**」となり、5カ月ぶりのプラスDIとなった。調査期間中の豪ドル/円相場は中国9月貿易収支のショック(輸入が大幅に減少)によって88円台から86円付近まで下落する場面もあったが下値は堅く、その後は87.00円を挟んでもみ合った。8月から9月にかけて起きた世界的な株安が一服し、金融市場全体が落ち着きを取り戻しつつある事が豪ドル弱気・円強気の修正に作用したと見られる。

※過去の豪ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。

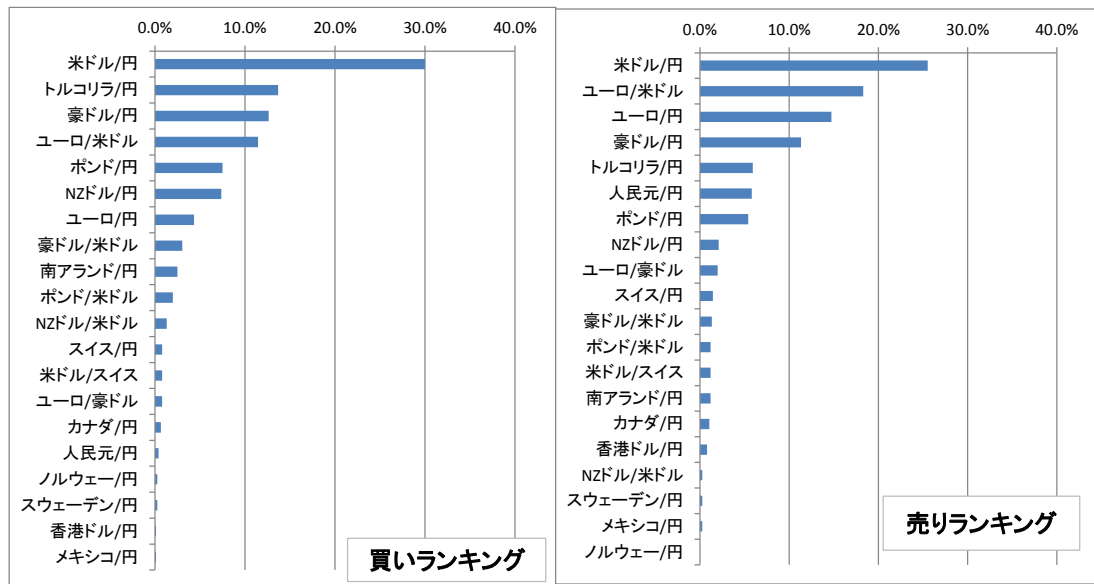


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

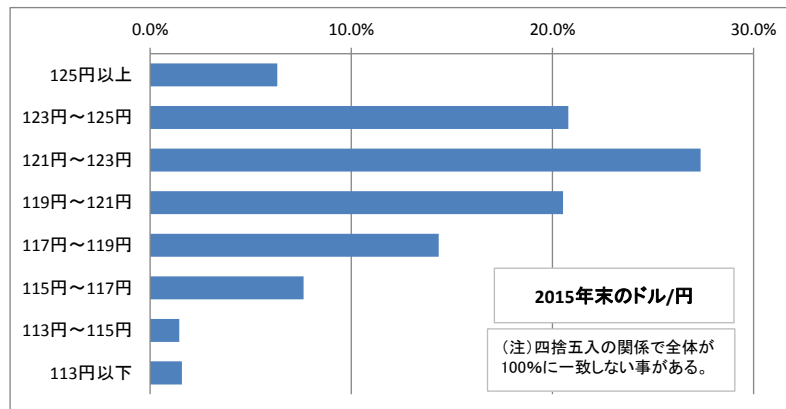
「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が30.0%の回答割合を集めて第1位をキープした。以下、2位トルコリラ/円(13.7%)、3位豪ドル/円(12.6%)、4位ユーロ/米ドル(11.4%)、5位ポンド/円(7.5%)、と続いた。一方、「売り」で注目の通貨ペアは、1位米ドル/円(25.5%)、2位ユーロ/米ドル(18.3%)、3位ユーロ/円(14.7%)、4位豪ドル/円(11.3%)、5位トルコリラ/円(5.9%)となった。「買い」で注目の通貨ペアについては、米ドル/円が37回連続で1位となったが、回答割合は前月の36.4%から低下した。なお、2位のトルコリラ/円も前回(15.3%)から回答割合がダウンした。一方で3位以下の豪ドル/円、ユーロ/米ドル、ポンド/円についてはいずれも回答割合が前回から上昇しており、相場展開が決め手を欠く中で、FX投資家の物色対象は分散化傾向にあると見られる。なお、「買い」で注目の通貨ペア、「売り」で注目の通貨ペアのいずれも、順位は前回から全く変動がなかった。前回調査以降の1カ月間に方向感を伴った動きを見せた通貨ペアは少なく、見直しを修正する必要が感じられなかった事が最大の原因であろう。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

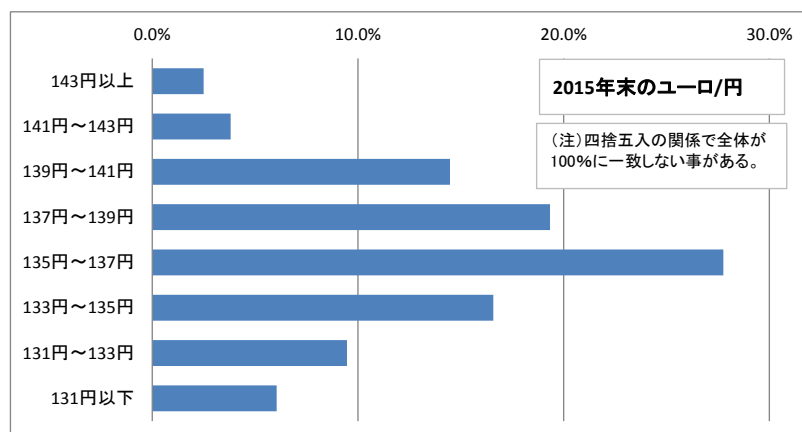
### 問6: 2015年12月31日NYクローズ時点のドル/円の予想レートをお答えください

今回の特別質問項目として、「2015年12月31日ニューヨーククローズ時点のドル/円の予想レートをお答えください(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「121～123円」が27.4%と最も多く、次いで「123～125円(20.8%)」、「119～121円(20.5%)」、「117～119円(14.3%)」であった。121円以上の合算割合が54.5%に上り、調査期間中の米ドル/円相場が119円前後で推移していた事から見て、米ドル高・円安予想のほう優勢と言えよう。問1で示された「今後1カ月間」の相場見通しでは「おおむね横ばい」予想が多かったが、「年末までの」中期的な見通しでは米ドル高・円安を見込んでいるFX投資家が多い事がわかった。



### 問7: 2015年12月31日NYクローズ時点のユーロ/円の予想レートをお答えください

「2015年12月31日ニューヨーククローズ時点のユーロ/円の予想レートをお答えください(ひとつだけ)」と重ねて尋ねたところ、「135～137円」が27.8%と最も多かった。次いで「137～139円(19.3%)」、「133～135円(16.6%)」、「139～141円(14.5%)」と続いた。調査期間中のユーロ/円相場は主に135～136円台で推移していた事に鑑みれば、年末まで横ばい圏内の推移が続くとこの見方が最有力という事になる。なお、問3の「今後1カ月間の相場見通し」でも「おおむね横ばい」予想が最多であり、FX投資家の多くが、ユーロ/円相場については「当分動かない」と見ている事がわかった。

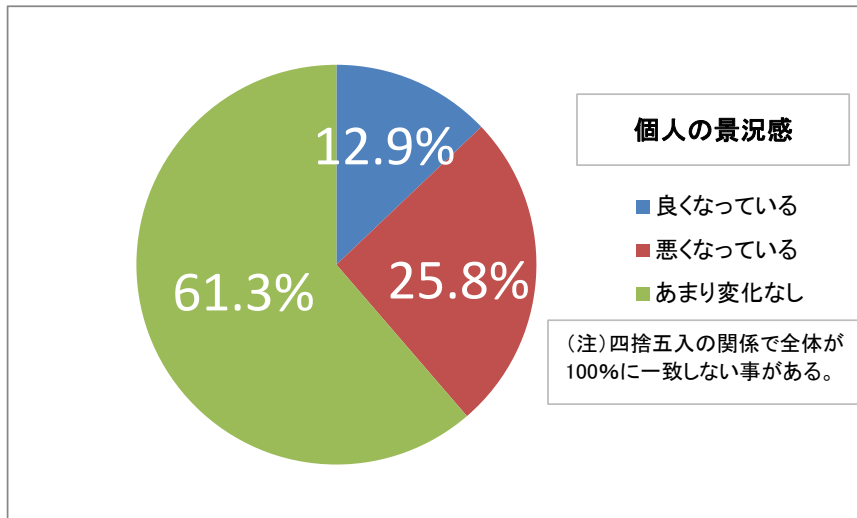


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

### 問8: あなた個人の「景況感」はいかがですか？(ひとつだけ)

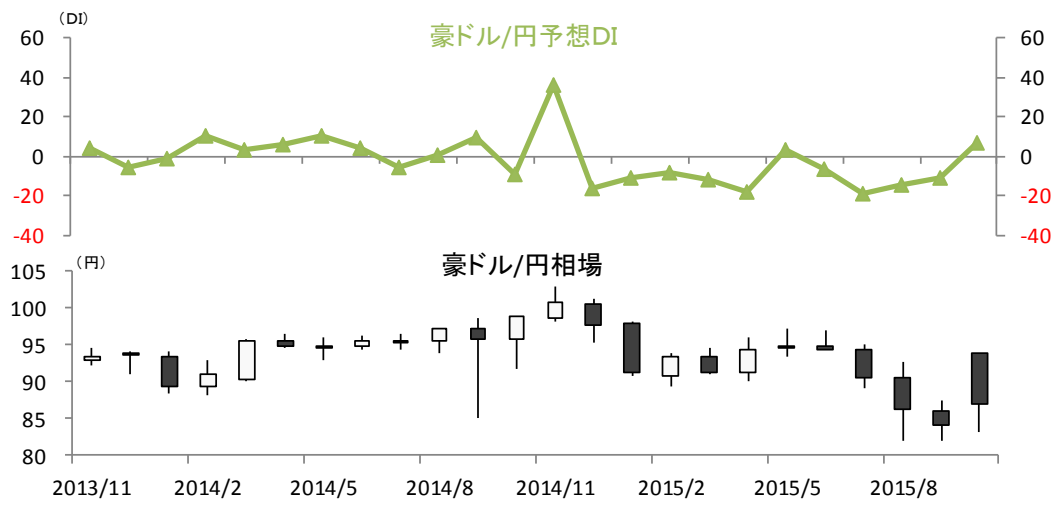
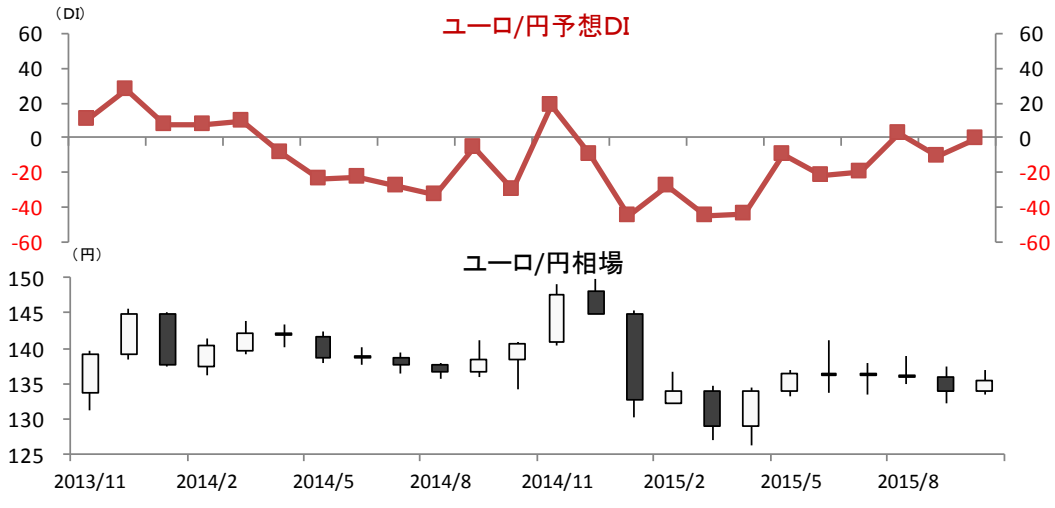
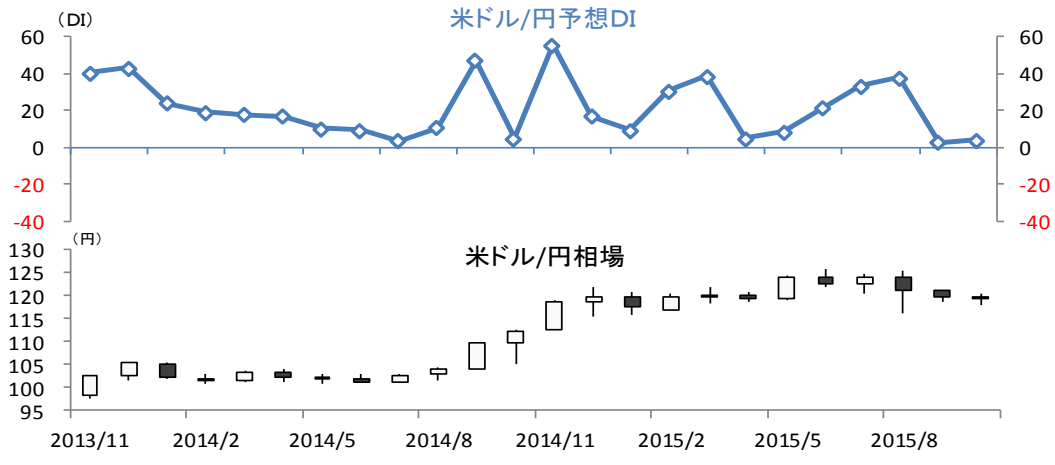
今回の最後の特別質問項目として、「あなた個人の『景況感』はいかがですか？(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「良くなっている」が12.9%、「悪くなっている」が25.8%、「あまり変化なし」が61.3%という結果になった。3カ月前の調査と同様に「あまり変化なし」が6割以上を占めた一方で、「良くなっている」とした割合は前回の21.1%から低下し、「悪くなっている」は18.6%から上昇した。劇的な変化ではないものの、FX投資家の景況感はやや悪化しているようだ。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

**【付表:主要3通貨ペア予想DIと足の推移】**



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

## 【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第77回目となりました。調査開始から6年以上が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めて行きたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年中央以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

## 【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

|       |     | 米ドル/円 |      |      | ユーロ/円 |      |       | 豪ドル/円 |      |       |
|-------|-----|-------|------|------|-------|------|-------|-------|------|-------|
|       |     | 米ドル高  | 米ドル安 | DI   | ユーロ高  | ユーロ安 | DI    | 豪ドル高  | 豪ドル安 | DI    |
| 2013年 | 11月 | 53.2  | 12.5 | 40.7 | 34.8  | 24.7 | 10.1  | 31.8  | 27.8 | 4.0   |
|       | 12月 | 59.5  | 16.1 | 43.4 | 48.2  | 20.7 | 27.5  | 27.3  | 32.8 | -5.5  |
| 2014年 | 1月  | 47.2  | 23.1 | 24.1 | 37.2  | 29.7 | 7.5   | 28.1  | 29.4 | -1.3  |
|       | 2月  | 41.7  | 22.5 | 19.2 | 35.3  | 28.2 | 7.1   | 36.5  | 26.3 | 10.2  |
|       | 3月  | 41.9  | 24.0 | 17.9 | 38.7  | 29.5 | 9.2   | 34.8  | 31.5 | 3.3   |
|       | 4月  | 41.4  | 24.6 | 16.8 | 25.7  | 34.5 | -8.8  | 35.4  | 29.5 | 5.9   |
|       | 5月  | 33.9  | 23.5 | 10.4 | 19.7  | 44.0 | -24.3 | 34.2  | 24.0 | 10.2  |
|       | 6月  | 31.1  | 21.7 | 9.4  | 20.1  | 43.1 | -23.0 | 30.4  | 26.0 | 4.4   |
|       | 7月  | 27.9  | 24.4 | 3.5  | 17.8  | 45.8 | -28.0 | 26.7  | 32.3 | -5.6  |
|       | 8月  | 32.6  | 21.8 | 10.8 | 14.7  | 47.9 | -33.2 | 27.8  | 27.7 | 0.1   |
|       | 9月  | 64.8  | 17.6 | 47.2 | 28.0  | 33.2 | -5.2  | 36.0  | 26.5 | 9.5   |
|       | 10月 | 39.4  | 34.4 | 5.0  | 18.3  | 47.8 | -29.5 | 27.1  | 36.1 | -9.0  |
|       | 11月 | 70.0  | 14.2 | 55.8 | 43.0  | 24.1 | 18.9  | 54.0  | 18.4 | 35.6  |
|       | 12月 | 48.9  | 32.0 | 16.9 | 28.8  | 38.2 | -9.4  | 26.9  | 43.4 | -16.5 |
| 2015年 | 1月  | 39.3  | 29.7 | 9.6  | 15.1  | 60.6 | -45.5 | 26.2  | 37.5 | -11.3 |
|       | 2月  | 46.8  | 16.1 | 30.7 | 19.7  | 47.5 | -27.8 | 26.4  | 34.8 | -8.4  |
|       | 3月  | 52.3  | 13.6 | 38.7 | 15.2  | 60.5 | -45.3 | 21.8  | 33.9 | -12.1 |
|       | 4月  | 31.4  | 26.3 | 5.1  | 15.1  | 59.0 | -43.9 | 23.4  | 41.9 | -18.5 |
|       | 5月  | 29.1  | 20.5 | 8.6  | 31.0  | 40.4 | -9.4  | 32.2  | 29.1 | 3.1   |
|       | 6月  | 43.5  | 21.9 | 21.6 | 25.4  | 47.2 | -21.8 | 24.3  | 31.3 | -7.0  |
|       | 7月  | 49.1  | 15.5 | 33.6 | 23.6  | 43.7 | -20.1 | 22.8  | 41.7 | -18.9 |
|       | 8月  | 51.1  | 13.1 | 38.0 | 30.9  | 28.8 | 2.1   | 24.1  | 38.5 | -14.4 |
|       | 9月  | 37.1  | 34.5 | 2.6  | 24.9  | 35.8 | -10.9 | 29.9  | 40.7 | -10.8 |
|       | 10月 | 30.3  | 26.2 | 4.1  | 30.3  | 31.1 | -0.8  | 39.6  | 33.0 | 6.6   |

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com